

## 気候情報

### 2016年2月の日本の天候

- 北・東日本は高温、西日本と沖縄・奄美では平年並だった
- 全国的に降水量が多かった
- 日本海側の降雪量は全国的に少なかった

#### 2月の天気概況

日本付近は冬型の気圧配置が長続きせず、日本の南海上や日本海から北日本を短い周期で低気圧や前線が通過したため、全国的に天気は数日の周期で変化した。降水量は全国的に多く、北日本日本海側ではかなり多くなった。ただし、気温が高く日本海側の月降雪量は全国的に少なかった。

**上旬：**旬のはじめは冬型の気圧配置で、北・東・西日本の日本海側では雪や雨の日が多かった一方、太平洋側では晴れた日が多かった。旬の中頃には日本付近を気圧の谷が通過し、太平洋側でも曇りの日があった。その後、大陸から寒気が流れ込み、西日本と沖縄・奄美を中心に低温となった。旬の終わりには大陸から高気圧が移動し、太平洋側だけでなく西日本日本海側や沖縄・奄美でも概ね晴れた。

旬平均気温は、沖縄・奄美は低く、北・東・西日本では平年並だった。

旬降水量は、東・西日本太平洋側ではかなり少なく、北日本太平洋側と西日本日本海側は少なかった。北・東日本日本海側は平年並、沖縄・奄美では多かった。

旬間日照時間は、北日本太平洋側と東・西日本および沖縄・奄美では多く、北日本日本海側は平年並だった。

**中旬：**冬型の気圧配置は長続きせず、天気は数日の周期で変化した。13日から14日にかけては低気圧の影響で全国的に荒れた天気となり、特に北日本では大荒れとなった。一方、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだため、気温は全国的に平年を大幅に上回り、各地で春一番が吹いた。20日も低気圧が日本付近を発達しながら北東進し、全国的に天気が崩れ、東・西日本太平洋側では大雨となった所もあった。西日本太平洋側では、旬降水量が平年比297%となり、1961年の統計開始以来の最も多い値を更新した。

旬平均気温は、北・東日本はかなり高く、西日本は高かった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、全国的に多く、北日本日本海側と東・西日本ではかなり多かった。

旬間日照時間は、北日本と西日本日本海側は少なく、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美は平年並、東日本日本海側は多かった。

**下旬：**日本付近では冬型の気圧配置が長続きせず、短い周期で高気圧と低気圧が交互に通過した。21日は低気圧が北海道の東海上に達し、北日本では暴風雪や大雪となった所があった。また、24日から26日も大陸からの寒気の影響で全国的に低温となり、北日本日本海側と沖縄・奄美では曇りや雨または雪となった。29

日は北海道付近で低気圧が発達したため、北・東日本を中心に大雪や暴風雪となった所があった。

旬平均気温は、北日本で低く、東・西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側ではかなり多く、北日本太平洋側と東日本日本海側で多かった。一方、東日本太平洋側と西日本では少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、東日本太平洋側では多く、北日本、東日本日本海側、西日本、沖縄・奄美では平年並だった。

#### 2月の気候統計

**月平均気温：**北・東日本は高かった。西日本と沖縄・奄美は平年並だった。

**月降水量：**全国的に多く、北日本日本海側ではかなり多かった。

**月間日照時間：**北日本日本海側では少なかった。東日本日本海側と西日本では多かった。北・東日本太平洋側および沖縄・奄美は平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

#### 2月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）  
父島 19.5
- ・月降水量多い方から（mm）  
与那国島 499.0
- ・月間日照時間多い方から（h）  
若松 130.7
- ・月間日照時間少ない方から（h）  
稚内 34.2、羽幌 25.6

#### 2016年2月の平年差（比）図

